地域の多様なパートナーと一緒に仕事する

大学生であるという可能性

対談

鈴木和樹 NPO法人POPOLO フードバンクふじのくに

×

西元勇人 良い広告株式会社

6/9（木）
13:30▸15:30
共通教育 A 棟 205
（定員 40 名程度）
またはオンライン視聴

よりよい社会を実現するためには、どうしたらいいでしょうか。地域には、企業や NPO、行政など多様な主体がいて、連携しながらこの課題にチャレンジしています。
これらのパートナーとともに、大学生はどんなチャレンジができるでしょうか。
NPO と企業それぞれの事業現場の最前線でチャレンジを続けているお二人と一緒に考えてみましょう。

鈴木 和樹　SUZUKI　KAZUKI

2007年より路上生活者やネットカフェ難民の方々に対して、生活保護申請同行などのボランティア活動に取り組む。その後、2010年に生活困窮者自立支援団体であるNPO POPOLOを設立。現在は、NPO法人POPOLO事務局長として、食料支援であるフードバンク活動、生活困窮者の自立支援施設である富士POPOLOハウスの運営等に取り組んでいる。（公式サイトより）

西元 勇人　NISHIMOTO　YUJIN

良い広告株式会社 静岡支社に 2016 年 8 月に入社、営業企画部係長。「本当にクライアントの利益を上げる仕事にするには」という事を突き詰めながら、地域や人々にとってどのような良い効果をもたらすのかも念頭に置き、イメージの向上や新たな付加価値の創造に取り組んでいる。
（良い広告株式会社 HP より）

申し込み先（前日 17:00 まで受付）
https://forms.gle/KTkjELJFKQpdYVF6A

問い合わせ先：静岡大学学務部地域連携推進課
kyouiku-renkei@adb.shizuoka.ac.jp

主催：未来社会デザイン機構 / 静岡大学

チャレンジ 2030　メンバー募集

静岡大学がかわる、地域社会がかわる
地域社会がかわる、静岡大学がかわる

学生・教員・職員がチームを組み、地域社会の多様なパートナーと力を合わせて、2030 年の理想像を共に描き、魅力的な静岡大学を創っていきます。
大学の主役である学生のあなた、パートナーになってくれる地域のあなた、ご参加をお待ちしています！